

調査結果の概要

A 概 括

1. 学校調査の結果

(1) 学校数（高等学校通信制を除く。以下同じ。）

総学校数（国立を含む）は、646校で前年度と同数でした。

学校種別にみると、幼稚園 192園（前年度と同数）、小学校 236校（同1校増）、中学校 107校（同増減なし）、高等学校 58校（同増減なし）、特別支援学校 15校（同増減なし）、専修学校 27校（同増減なし）、各種学校 11校（同1校減）となっています。

(2) 在学者数

在学者数は、幼稚園 19,278人（前年度より280人減）、小学校 86,907人（同351人減）、中学校 42,232人（同180人減）、高等学校 38,706人（同580人増）、特別支援学校 1,853人（同147人増）、専修学校 2,140人（同192人増）、各種学校 659人（同139人増）でした。

(3) 教員数（本務者）

本務教員数は、幼稚園 1,646人（前年度より52人増）、小学校 5,251人（同46人増）、中学校 2,972人（同16人減）、高等学校 2,802人（同34人増）、特別支援学校 1,109人（同25人増）、専修学校 206人（同2人減）、各種学校 59人（同1人増）でした。

学校種別学校数、在学者数、教員数

（単位：校（園）、人）

	幼稚園	小学校	中学校	高等学校 (全・定)	特別支援 学校	専修学校	各種学校	計	高等学校 (通信制)
学校(園)数	192 (192)	236 (235)	107 (107)	58 (58)	15 (15)	27 (27)	11 (12)	646 (646)	4 (4)
在学者数	19,278 (19,558)	86,907 (87,258)	42,232 (42,412)	38,706 (38,126)	1,853 (1,706)	2,140 (1,948)	659 (520)	191,775 (191,528)	1,783 (1,839)
教員数 (本務者)	1,646 (1,594)	5,251 (5,205)	2,972 (2,988)	2,802 (2,768)	1,109 (1,084)	206 (208)	59 (58)	14,045 (13,905)	57 (53)

(注) 1. 学校(園)数には、国立の学校および休校を含みます。また、分校も1校とします。

2. 高等学校(通信制)は学校調査に含まれていないため、別掲で計上しています。なお、高等学校(通信制)4校のうち1校は定時制と、1校は全日制・定時制との併置校であるため、学校数は高等学校(全・定)にも計上されています。

3. ()書きは、前年度の数値です。

(4) 長期欠席者数

平成21年度間(平成21年4月1日から平成22年3月31日までの1年間)の長期欠席者(30日以上欠席者)の数は、小学校が913人で前年度間より100人減少、中学校が1,696人で前年度間より58人減少しました。

理由別では、小学校、中学校とも「不登校」が最も多く、小学校では406人(長期欠席者数に占める割合は44.5%)、中学校では1,230人(同72.5%)となっています。

理由別長期欠席者数(30日以上欠席者)

(単位:人、%)

平成21年度間	合 計	病 気	経 済 的 理 由	不 登 校	長期欠席者数	そ の 他	全児童・生徒数 に占める「長期 欠席者」の割合
					に占める割合		
小 学 校	913 (1,013)	244 (306)	5 (8)	406 (414)	44.5 (40.9)	258 (285)	1.05 (1.16)
中 学 校	1,696 (1,754)	190 (172)	1 (2)	1,230 (1,265)	72.5 (72.1)	275 (315)	4.00 (4.18)

(注) ()書きは、前年度の数値です。

2. 卒業後の状況調査の結果

(1)中学校卒業生

平成22年3月の中学校卒業生総数は14,439人で、前年より693人増加しました。

このうち、高等学校等進学者は14,254人で、高等学校等進学率は98.7%となり、前年より0.3ポイント上昇しました。

一方、就職者総数(就職者数に、高等学校等に進学しながら就職している者を加えた数)は36人で、就職率は0.2%となり、前年より0.2ポイント低下しました。

(2)高等学校卒業生

平成22年3月の高等学校卒業生総数は、12,092人で前年より277人減少しました。

このうち、大学等進学者は7,123人で、大学等進学率は58.9%となり、前年より0.3ポイント低下しました。

一方、就職者総数(就職者数に、大学・専修学校等へ進学・入学しながら就職している者を加えた数)は1,849人で、就職率は15.3%となり、前年より1.1ポイント低下しました。

状況別卒業生数(中学校および高等学校(全・定)、平成22年3月卒)

(単位:人)

	卒業生 総 数	A 進学者	B 専修学校 進学者	C 専修学校 一般課程等 入学者	D 公共職業 能力開発施 設等入学者	E 就職者	F 一時的 な仕事に 就いた者	G 左記 以外の 者	H 不詳・ 死亡の 者	ABCDの うち就職者 (再掲)	進学率 % (高等学校等 ・大学等)	就職率 %
中学校	14,439	14,254	5	1	19	33	/	126	1	3	98.7	0.2
男子	7,362	7,262	1	1	15	21		62	-	1	98.6	0.3
女子	7,077	6,992	4	-	4	12		64	1	2	98.8	0.2
(前年度)	(13,746)	(13,531)	(4)	(2)	(23)	(51)		(135)	(-)	(5)	(98.4)	(0.4)
高等学校	12,092	7,123	1,763	499	91	1,847	263	506	-	2	58.9	15.3
男子	6,218	3,608	760	388	87	1,026	88	261	-	1	58.0	16.5
女子	5,874	3,515	1,003	111	4	821	175	245	-	1	59.8	14.0
(前年度)	(12,369)	(7,317)	(1,680)	(536)	(68)	(2,027)	(224)	(516)	(1)	(2)	(59.2)	(16.4)

(注) 1. 中学校卒業生総数には、国立の中学校卒業生を含みます。

2. 「進学者」は、中学校においては高等学校等へ、高等学校においては大学・短大等へ進学した者です。

3. 「専修学校進学者」は、中学校においては専修学校(高等課程)へ、高等学校においては専修学校(専門課程)へ進学した者です。

4. 「就職率」は、卒業生総数に占める就職者総数「E 就職者 + ABCDのうち就職者(再掲)」の割合です。

B 概 要

学校調査

1. 幼 稚 園

(1) 園 数

幼稚園数は192園で、前年度と同数でした。

設置者別では、国立1園、市立148園(うち分園4園)、町立16園(同2園)、私立27園(学校法人立25園、その他の法人立2園)となっています。

園児数別にみると、園児数0人が3園、1～50人が49園、51～100人が56園、101～150人が39園、151～200人が30園、201～250人が9園、251～300人が5園、301～400人が1園となっています。(表-1,表-2,表-3)

表-1 設置者別幼稚園数

設置者別	国立	公 立			計	私 立			計	合 計
		県立	市立	町立		学校法人	その他の法人	個人		
園 数	1	-	148(4)	16(2)	164(6)	25	2	-	27	192(6)

(注) ()内の数値は分園で内数です。

表-2 園児数別幼稚園数

幼稚園数		園 児 数 (人)							
		0	1~50	51~100	101~150	151~200	201~250	251~300	301~400
計	192	3	49	56	39	30	9	5	1
国立	1	-	-	-	-	1	-	-	-
公立	164	2	44	50	34	23	6	5	-
私立	27	1	5	6	5	6	3	-	1

(2) 園 児 数

園児数は19,278人(男子9,834人、女子9,444人)で、前年度より280人(男子108人減、女子172人減)、1.4%減少しました。

園児数を設置者別にみると、国立が159人、公立が15,796人、私立が3,323人となっています。公立の占める割合は81.9%で、前年度より0.5ポイント低下しました。

また、本務教員1人当たりの園児数は、前年度より0.6人減少して11.7人となり、全国平均14.5人と比べると2.8人少なくなっています。(表-3,統計表第1表)

(3) 学 級 数

学級数(N学級を含む)は887学級(国立5学級、公立749学級、私立133学級)で、前年度より3学級減少しました。なお、N学級は25学級でした。

次に、在園児のいる862学級を編制方式別にみると、3歳児のみが216学級(25.1%)、4歳児のみが314学級(36.4%)、5歳児のみが316学級(36.7%)、3歳児と4歳児と5歳児の合同が16学級(1.9%)となっています。

また、収容人数別にみると、1～15人が155学級(18.0%)、16～20人が188学級(21.8%)、21～25人が217学級(25.2%)、26～30人が178学級(20.6%)、31～35人が106学級(12.3%)、36～40人が18学級(2.1%)となっています。

(表-3, 統計表第1表, 第3表, 第4表)

N学級とは、学級が設置されているが、5月1日現在在園者がいない学級をいう。

表-3 幼稚園の園数等の推移

年度	幼稚園数	学級数	園児数	対前年度 増加率	本務 教員数	対前年度 増加率	本務教員1人当 たりの園児数		修了者数	就園率	
							滋賀県	全国		滋賀県	全国
	園	学級	人	%	人	%	人	人	人	%	%
平成12	191	744	17,690	1.5	1,206	1.4	14.7	16.7	8,408	60.9	61.1
13	191	779	17,833	0.8	1,287	6.7	13.9	16.4	8,704	59.7	60.6
14	193	806	18,612	4.4	1,354	5.2	13.7	16.4	8,271	59.2	59.9
15	194	843	19,595	5.3	1,449	7.0	13.5	16.2	8,265	57.9	59.3
16	190	846	19,795	1.0	1,502	3.7	13.2	16.0	8,379	58.5	58.9
17	190	859	19,826	0.2	1,543	2.7	12.8	15.8	8,177	56.1	58.4
18	189	872	19,887	0.3	1,533	0.6	13.0	15.6	8,297	57.2	57.7
19	188	882	20,047	0.8	1,585	3.4	12.6	15.3	7,996	55.8	57.2
20	190	888	20,111	0.3	1,592	0.4	12.6	15.1	8,133	55.7	56.7
21	192	890	19,558	2.7	1,594	0.1	12.3	14.7	8,133	56.5	56.4
22	192	887	19,278	1.4	1,646	3.3	11.7	14.5	7,871	55.9	56.2

(注) 学級数はN学級を含みます。

(4) 教員数

本務教員数は1,646人(男子58人、女子1,588人)で、前年度より52人、3.3%増加しました。(表-3, 表-4)

表-4 本務教員の男女の割合

(幼稚園)

年度	計	男子教員	女子教員	男子教員の割合	女子教員の割合
	人	人	人	%	%
平成12	1,206	42	1,164	3.5	96.5
13	1,287	46	1,241	3.6	96.4
14	1,354	47	1,307	3.5	96.5
15	1,449	52	1,397	3.6	96.4
16	1,502	49	1,453	3.3	96.7
17	1,543	51	1,492	3.3	96.7
18	1,533	48	1,485	3.1	96.9
19	1,585	48	1,537	3.0	97.0
20	1,592	53	1,539	3.3	96.7
21	1,594	55	1,539	3.5	96.5
22	1,646	58	1,588	3.5	96.5

(5) 修了者数および就園率

平成22年3月の幼稚園修了者数は7,871人(男子3,986人、女子3,885人)で、前年度より262人減少(男子126人減、女子136人減)しました。

また、本年度の小学校第1学年児童数(14,088人)に対する幼稚園修了者の比率(就園率)は、前年度より0.6ポイント低下して55.9%となり、全国平均56.2%を0.3ポイント下回っています。(表-3, 統計表第5表)

2. 小 学 校

(1) 学 校 数

学校数は236校(本校233校、分校3校)で、前年度より1校増加しています。

設置者別では、国立1校、公立234校(うち分校3校)、私立1校となっています。(表-5, 表-7)

表 - 5 設 置 者 別 学 校 数

(小学校)

設置者別	国 立	公 立		計	私 立	合 計
		市 立	町 立			
学 校 数	1	217(3)	17	234(3)	1	236(3)

(注) () 内の数値は分校で内数です。

これを規模別にみると、児童数500人未満の学校は167校で、前年度より1校増加、500人以上1,000人未満の学校は65校で、前年度と同数、1,000人以上の学校は4校で、前年度と同数でした。(表-6)

表 - 6 規 模 別 学 校 数 の 推 移

(小学校)

区 分	平成17年度		18		19		20		21		22	
	校	構成比 %	校	構成比 %	校	構成比 %	校	構成比 %	校	構成比 %	校	構成比 %
500 人 未 満	175	74.2	171	72.2	173	73.0	166	70.3	166	70.6	167	70.8
500人以上1,000人未満	57	24.2	62	26.2	60	25.3	65	27.5	65	27.7	65	27.5
1,000 人 以 上	4	1.7	4	1.7	4	1.7	5	2.1	4	1.7	4	1.7
合 計	236	100.0	237	100.0	237	100.0	236	100.0	235	100.0	236	100.0

(2) 児 童 数

児童数は86,907人(男子44,727人、女子42,180人)で、前年度より351人、0.4%減少しました。

1学級当たりの児童数は、24.5人で、前年度より0.2人少なくなり、全国平均の25.2人より0.7人少なくなっています。

また、本務教員1人当たりの児童数は、前年度より0.2人少ない16.6人で、全国平均の16.7人より0.1ポイント少なくなっています。(表-7)

(3)学 級 数

学級数は3,551学級で、前年度より25学級増加しました。

これを学級編制別にみると、単式学級は3,008学級(対前年度7学級減)、複式学級は14学級(同4学級増)、特別支援学級は529学級(同28学級増)となっています。

(表-7, 統計表第8表)

表 - 7 小学校の学校数等の推移

年 度	学校数	学級数	児童数	対前年度 増加率	本 務 教員数	対前年度 増加率	1学級当たり の児童数		本務教員1人 当たりの児童数	
							滋賀県	全国	滋賀県	全国
	校	学級	人	%	人	%	人	人	人	人
平成12	238(5)	3,215	87,072	2.0	4,771	1.1	27.1	27.1	18.3	18.1
13	237(5)	3,215	86,136	1.1	4,788	0.4	26.8	26.9	18.0	17.9
14	237(5)	3,225	85,409	0.8	4,846	1.2	26.5	26.7	17.6	17.6
15	239(5)	3,242	85,170	0.3	4,887	0.8	26.3	26.5	17.4	17.5
16	238(4)	3,285	85,385	0.3	4,949	1.3	26.0	26.3	17.3	17.4
17	236(4)	3,276	85,767	0.4	4,961	0.2	26.2	26.1	17.3	17.3
18	237(4)	3,417	86,465	0.8	5,006	0.9	25.3	25.9	17.3	17.2
19	237(4)	3,478	86,354	0.1	5,094	1.8	24.8	25.7	17.0	17.1
20	236(3)	3,504	87,220	1.0	5,148	1.1	24.9	25.6	16.9	17.0
21	235(3)	3,526	87,258	0.0	5,205	1.1	24.7	25.4	16.8	16.8
22	236(3)	3,551	86,907	0.4	5,251	0.9	24.5	25.2	16.6	16.7

(注) 学校数の()内の数値は分校で内数です。

(4)特別支援学級の在籍児童数

特別支援学級の在籍児童数は1,893人で、前年度より200人増加しました。(表-8)

表 - 8 特別支援学級の種別児童数

(小学校)

区 分	児 童 数 (人)						計	学級数
	1年	2年	3年	4年	5年	6年		
知的障害	148	180	197	196	194	169	1,084	245
肢体不自由	8	9	15	8	11	19	70	56
病弱・身体虚弱	7	6	2	4	2	3	24	20
弱 視	4	2	2	1	3	2	14	14
難 聴	5	4	4	2	3	2	20	18
言語障害	-	-	-	-	-	-	-	-
情緒障害	124	128	139	97	102	91	681	176
合 計	296	329	359	308	315	286	1,893	529

(5)長期欠席者数

平成21年度間(平成21年4月1日から平成22年3月31日までの1年間)の30日以上長期欠席者数は913人で、前年度間より100人減少しました。総児童数に占める割合は1.05%で、前年度間より0.11ポイント低下しましたが、全国平均の0.74%を0.31ポイント上回っています。

長期欠席者を理由別にみると、「不登校」が406人(全体の44.5%)で最も多く、次いで「その他」が258人(同28.3%)、「病気」が244人(同26.7%)、「経済的理由」が5人(同0.5%)となっています。(図-1,表-9)

「その他」:「病気」,「経済的理由」,「不登校」のいずれにも該当しない理由によるもの

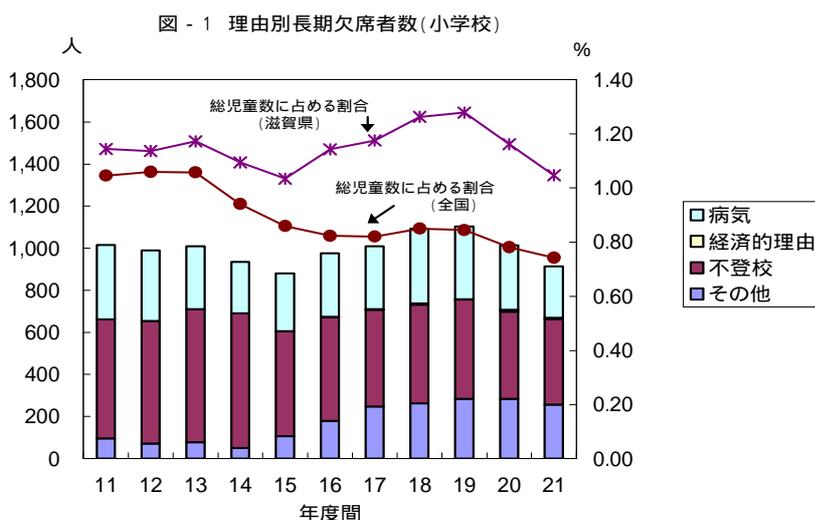


表-9 理由別長期欠席者数

(小学校)

年度間	合計	病気	経済的理由	不登校	その他	総児童数に占める割合	
						滋賀県	全国
	人	人	人	人	人	%	%
平成 11	1,016	354	-	565	97	1.14	1.05
12	990	335	1	583	71	1.14	1.06
13	1,010	300	-	631	79	1.17	1.06
14	935	244	1	639	51	1.09	0.94
15	881	275	-	500	106	1.03	0.86
16	976	302	2	492	180	1.14	0.82
17	1,008	298	3	459	248	1.18	0.82
18	1,092	354	6	468	264	1.26	0.85
19	1,104	346	2	471	285	1.28	0.84
20	1,013	306	8	414	285	1.16	0.78
21	913	244	5	406	258	1.05	0.74

(6)教 員 数

本務教員数は 5,251人(男子1,952人、女子3,299人)で、前年度より46人、0.9%増加しました。男女の割合では男子教員37.2%、女子教員62.8%となっています。

(表 - 7, 表 - 10)

表 - 10 本務教員の男女の割合

(小学校)

年 度	計	男子教員		女子教員		男子教員の割合		女子教員の割合	
		人	人	人	人	%	%	%	%
平成12	4,771	1,797	2,974	37.7	62.3				
13	4,788	1,788	3,000	37.3	62.7				
14	4,846	1,792	3,054	37.0	63.0				
15	4,887	1,809	3,078	37.0	63.0				
16	4,949	1,822	3,127	36.8	63.2				
17	4,961	1,832	3,129	36.9	63.1				
18	5,006	1,863	3,143	37.2	62.8				
19	5,094	1,908	3,186	37.5	62.5				
20	5,148	1,928	3,220	37.5	62.5				
21	5,205	1,928	3,277	37.0	63.0				
22	5,251	1,952	3,299	37.2	62.8				

3. 中 学 校

(1)学 校 数

学校数は107校(本校106校、分校1校)で、前年度と同数でした。

設置者別では、国立1校、公立101校(うち分校1校)、私立5校となっています。

(表 - 11, 表 - 13)

表 - 11 設置者別学校数

(中学校)

設置者別	国 立	公 立			計	私 立	合 計
		県 立	市 立	町 立			
学 校 数	1	3	91(1)	7	101(1)	5	107(1)

(注) () 内の数値は分校で内数です。

これを規模別にみると、生徒数500人未満の学校は75校で、前年度より1校増加、500人以上1,000人未満の学校は32校で、前年度より1校減少しました。(表 - 12)

表 - 12 規 模 別 学 校 数 の 推 移

(中学校)

区 分	平成17年度		18		19		20		21		22	
	校	構成比	校	構成比	校	構成比	校	構成比	校	構成比	校	構成比
500 人 未 満	72	67.9	75	70.8	75	70.1	76	71.0	74	69.2	75	70.1
500人以上1,000人未満	34	32.1	31	29.2	32	29.9	31	29.0	33	30.8	32	29.9
合 計	106	100.0	106	100.0	107	100.0	107	100.0	107	100.0	107	100.0

(2) 生徒数

生徒数は 42,232人(男子 21,766人、女子 20,466人)で、前年度に比べ180人、0.4%減少しました。

1学級当たりの生徒数は、前年度より0.3人少ない28.9人で、全国平均29.4人より0.5人少なくなっています。

また、本務教員1人当たりの生徒数は、前年度と同数の14.2人で、全国平均の14.2人と同数でした。(表-13)

(3) 学級数

学級数は 1,459学級で、前年度より7学級増加しました。

これを学級編制別にみると、単式学級は1,246学級(対前年度2学級増)、複式学級は0学級(同増減なし)、特別支援学級は213学級(同5学級増)となっています。(表-13, 統計表第14表)

表 - 13 中学校の学校数等の推移

年 度	学校数	学級数	生徒数	対前年度 増加率	本 務 教員数	対前年度 増加率	1学級当たり の生徒数		本務教員1人 当たりの生徒数	
							滋賀県	全国	滋賀県	全国
平成12	校 104(1)	学級 1,508	人 48,147	% 2.7	人 3,005	% 0.9	人 31.9	人 32.4	人 16.0	人 15.9
13	104(1)	1,496	47,284	1.8	3,020	0.5	31.6	32.1	15.7	15.6
14	103(1)	1,462	45,683	3.4	2,967	1.8	31.2	31.7	15.4	15.2
15	107(1)	1,455	44,394	2.8	2,992	0.8	30.5	31.3	14.8	14.9
16	106(1)	1,438	42,785	3.6	2,977	0.5	29.8	31.0	14.4	14.7
17	106(1)	1,422	42,261	1.2	2,960	0.6	29.7	30.7	14.3	14.6
18	106(1)	1,410	41,581	1.6	2,907	1.8	29.5	30.4	14.3	14.5
19	107(1)	1,452	42,133	1.3	2,975	2.3	29.0	30.2	14.2	14.5
20	107(1)	1,446	41,958	0.4	2,984	0.3	29.0	30.0	14.1	14.4
21	107(1)	1,452	42,412	1.1	2,988	0.1	29.2	29.7	14.2	14.4
22	107(1)	1,459	42,232	0.4	2,972	0.5	28.9	29.4	14.2	14.2

(注) 学校数の()内の数値は分校で内数です。

(4) 特別支援学級の在籍生徒数

特別支援学級の在籍生徒数は 660人で、前年度より78人増加しました。(表-14)

表 - 14 特別支援学級の種類別生徒数

(中学校)

区 分	生 徒 数 (人)			計	学 級 数
	1 年	2 年	3 年		
知的障害	125	136	151	412	97
肢体不自由	5	3	13	21	18
病弱・身体虚弱	6	4	7	17	14
弱 視	2	1	1	4	4
難 聴	8	1	3	12	10
言語障害	-	-	-	-	-
情緒障害	75	65	54	194	70
合 計	221	210	229	660	213

(5)長期欠席者数

平成21年度間(平成21年4月1日から平成22年3月31日までの1年間)の30日以上長期欠席者数は1,696人で、前年度間より58人減少しました。

総生徒数に占める割合は4.00%で、前年度間より0.18ポイント低下しましたが、全国平均の3.56%を0.44ポイント上回っています。

長期欠席者を理由別にみると、「不登校」が1,230人(全体の72.5%)で最も多く、次いで「その他」が275人(同16.2%)、「病気」が190人(同11.2%)、「経済的理由」が1人(同0.1%)となっています。(図-2,表-15)

「その他」:「病気」,「経済的理由」,「不登校」のいずれにも該当しない理由によるもの

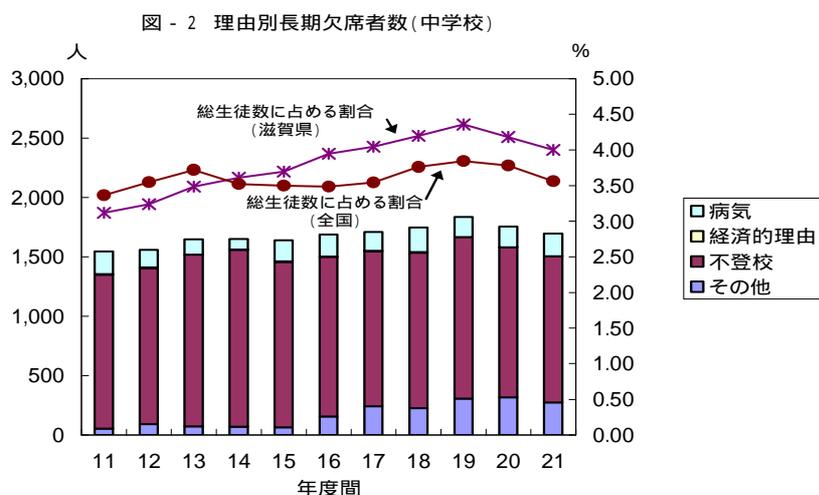


表-15 理由別長期欠席者数

(中学校)

年度間	合計	病気	経済的理由	不登校	その他	総生徒数に占める割合	
						滋賀県	全国
	人	人	人	人	人	%	%
平成 11	1,544	189	4	1,298	53	3.12	3.36
12	1,559	149	7	1,313	90	3.24	3.55
13	1,648	131	-	1,445	72	3.49	3.72
14	1,649	88	2	1,489	70	3.61	3.52
15	1,640	179	6	1,390	65	3.69	3.5
16	1,689	186	5	1,342	156	3.95	3.48
17	1,709	159	4	1,305	241	4.04	3.55
18	1,746	206	6	1,307	227	4.20	3.76
19	1,836	169	1	1,359	307	4.36	3.84
20	1,754	172	2	1,265	315	4.18	3.78
21	1,696	190	1	1,230	275	4.00	3.56

(6)教 員 数

本務教員数は 2,972人(男子 1,755人、女子 1,217人)で、前年度より16人、0.5%減少しました。また、男女の割合では、男子教員59.1%、女子教員40.9%となっています。

(表 - 13,表 - 16)

表 - 16 本務教員の男女の割合

(中学校)					
年 度	計	男子教員	女子教員	男子教員の割合	女子教員の割合
	人	人	人	%	%
平成12	3,005	1,781	1,224	59.3	40.7
13	3,020	1,796	1,224	59.5	40.5
14	2,967	1,794	1,173	60.5	39.5
15	2,992	1,787	1,205	59.7	40.3
16	2,977	1,771	1,206	59.5	40.5
17	2,960	1,747	1,213	59.0	41.0
18	2,907	1,726	1,181	59.4	40.6
19	2,975	1,759	1,216	59.1	40.9
20	2,984	1,754	1,230	58.8	41.2
21	2,988	1,745	1,243	58.4	41.6
22	2,972	1,755	1,217	59.1	40.9

4 . 高 等 学 校

a 全 日 制、定 時 制 課 程

(1)学 校 数

学校数は58校(公立49校、私立9校)で、前年度と同数でした。

課程別では、全日制のみが51校(公立43校、私立8校)、定時制のみが3校(公立3校)、全日制と定時制の両方ある併置校が4校(公立3校、私立1校)となっています。(表 - 17,表 - 19)

表 - 17 設 置 者 別 学 校 数

(高等学校)									
設置者別	公 立				私 立				合 計
	全 日 制	定 時 制	併 置	計	全 日 制	定 時 制	併 置	計	
学 校 数	43	3	3	49	8	-	1	9	58

(2)入 学 状 況

今年度の高等学校入学者数は 13,509人で、前年度より627人増加しました。課程別では、公立全日制 10,708人(対前年度479人増)、私立全日制 2,379人(同105人増)、公立定時制254人(同42人増)、私立定時制168人(同1人増)となっています。

また、入学志願者数は 26,310人で、前年度より1,284人増加しました。課程別では、公立

全日制 14,763人(対前年度474人増)、私立全日制 10,844人(同810人増)、公立定時制 272人(同38人増)、私立定時制 431人(同38人減)となっています。

志願倍率(入学志願者の入学定員に対する倍率)は全体で1.91倍でした。課程別では、公立全日制が1.38倍、私立全日制が4.12倍、公立定時制が0.97倍、私立定時制が2.69倍でした。

入学志願者が実際に入学した割合(入学率)は全体で51.3%でした。課程別では公立全日制が72.5%、私立全日制が21.9%、公立定時制が93.4%、私立定時制が39.0%でした。

高等学校入学者のうち他府県所在の中学校出身者は301人(男子180人、女子121人)で、前年度より38人減少(男子18人減、女子20人減)しました。また、入学者全体に占める割合は2.2%で、前年度より0.4ポイント低下しました。

入学者のうち過年度中学校卒業者は65人(男子45人、女子20人)で、前年度より6人増加(男子3人減、女子9人増)しました。入学者全体に占める割合は0.5%で、前年度と同率でした。

(表 - 18, 統計表第18表)

表 - 18 高等学校課程別入学者数等

区 分	入学者数 人	対前年差 人	入学志願者数 人	対前年差 人	志願倍率 倍	入学率 %	入学定員 人
公立全日制	10,708	479	14,763	474	1.38	72.5	10,680
私立全日制	2,379	105	10,844	810	4.12	21.9	2,630
公立定時制	254	42	272	38	0.97	93.4	280
私立定時制	168	1	431	38	2.69	39.0	160
計	13,509	627	26,310	1,284	1.91	51.3	13,750

$$(注) \text{ 志願倍率(倍)} = \frac{\text{入学志願者数}}{\text{入学定員}}$$

$$\text{入学率(\%)} = \frac{\text{入学者数}}{\text{入学志願者数}} \times 100$$

表 - 19 高等学校(全日制、定時制課程)の学校数等の推移

年 度	学 校 数				生 徒 数 人	対前年度 増加率 %	本 務 教員数 人	対前年度 増加率 %	本務教員1人 当たりの生徒数	
	計	全日制	定時制	併 置					滋賀県 人	全国 人
12	58	50	4	4	45,871	0.5	3,075	0.0	14.9	15.5
13	58	50	4	4	45,187	1.5	3,078	0.1	14.7	15.2
14	58	50	4	4	43,920	2.8	3,041	1.2	14.4	15.0
15	58	50	4	4	42,694	2.8	2,989	1.7	14.3	14.7
16	58	50	4	4	42,003	1.6	2,966	0.8	14.2	14.5
17	58	50	4	4	40,782	2.9	2,915	1.7	14.0	14.3
18	58	51	4	3	39,892	2.2	2,853	2.1	14.0	14.1
19	58	51	4	3	38,676	3.0	2,817	1.3	13.7	14.0
20	58	51	3	4	38,431	0.6	2,797	0.7	13.7	14.0
21	58	51	3	4	38,126	0.8	2,768	1.0	13.8	14.0
22	58	51	3	4	38,706	1.5	2,802	1.2	13.8	14.1

(注) 生徒数には、専攻科生徒を含みます。

(3) 生徒数

生徒数は、総数が 38,706 人(男子 19,771 人、女子 18,935 人)で、前年度より 580 人(男子 191 人増、女子 389 人増)、1.5%増加しています。

本科の生徒数を課程別にみると、全日制 37,354 人(公立 30,755 人、私立 6,599 人)、定時制 1,352 人(公立 867 人、私立 485 人)となっています。

また、本科の生徒数を学科別にみると、全日制では、普通科が 26,782 人(全日制全体の 71.7%)で最も多く、次いで総合学科が 3,685 人(同 9.9%)、工業に関する学科が 2,510 人(同 6.7%)、商業に関する学科が 1,521 人(同 4.1%)、農業に関する学科が 1,247 人(同 3.3%)、家庭に関する学科が 577 人(同 1.5%)、福祉に関する学科が 219 人(同 0.6%)、その他の学科が 813 人(同 2.2%)となっています。

一方、定時制では、普通科が 875 人(定時制全体の 64.7%)、工業に関する学科が 269 人(同 19.9%)、家庭に関する学科が 120 人(同 8.9%)、商業に関する学科が 88 人(同 6.5%)となっています。

また、本務教員 1 人当たりの生徒数は、前年度と同数の 13.8 人で、全国平均 14.1 人より 0.3 人少なくなっています。(表 - 19, 図 - 3, 図 - 4, 図 - 5, 統計表第 17 表)

図 - 3 学科別生徒割合(本科全日制)

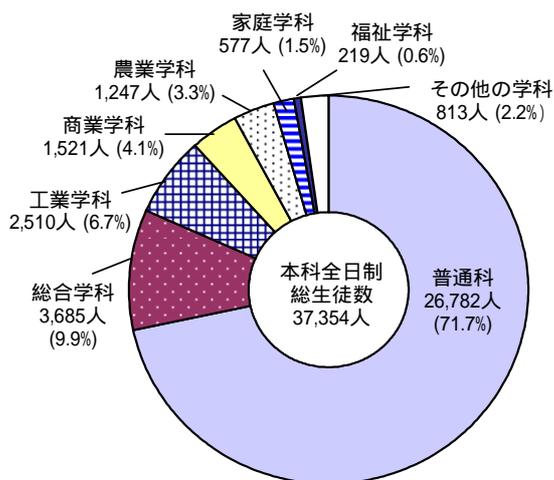
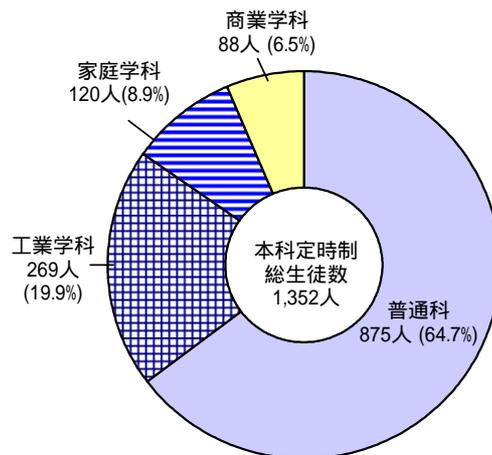


図 - 4 学科別生徒割合(本科定時制)



(4) 教職員数

本務教員数は 2,802 人(男子 1,982 人、女子 820 人)で、前年度より 34 人、1.2%増加しました。

これを課程別にみると、公立全日制 2,221 人(男子 1,554 人、女子 667 人)、私立全日制 471 人(男子 336 人、女子 135 人)、公立定時制 91 人(男子 79 人、女子 12 人)、私立定時制 19 人(男子 13 人、女子 6 人)となっています。

また、男女の割合は男子教員 70.7%、女子教員 29.3%でした。

一方、職員数(本務者)は 555 人(男子 273 人、女子 282 人)で、前年度より 4 人増加(男子 2 人減、女子 6 人増)しました。(表 - 19, 表 - 20, 統計表第 23 表, 第 24 表)

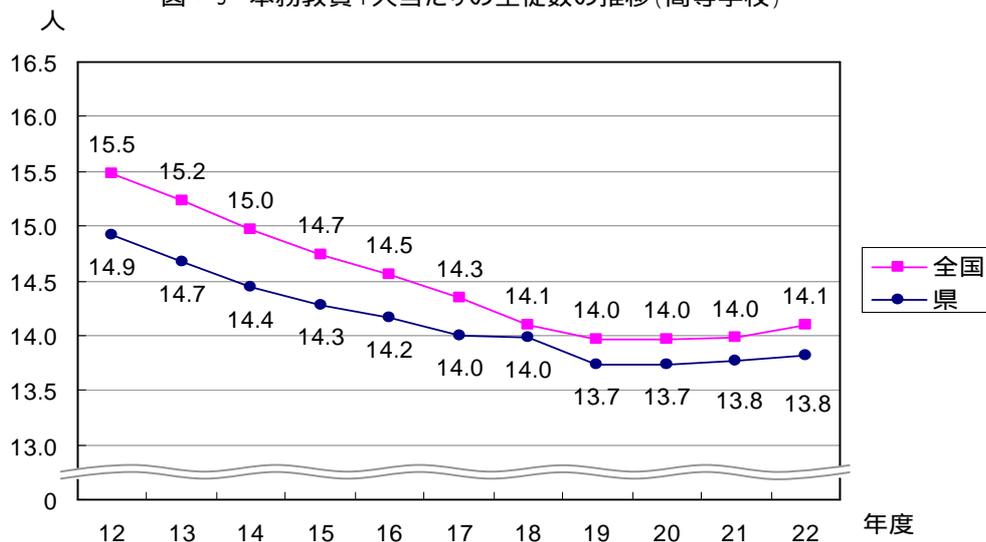
職員：事務職員、実習助手、学校図書館事務員、技術職員、養護職員(看護師等)、用務員等をいう。

表 - 20 本務教員の男女の割合

(高等学校)

年度	計	男子教員	女子教員	男子教員の割合	女子教員の割合
		人	人	%	%
平成12	3,075	2,246	829	73.0	27.0
13	3,078	2,235	843	72.6	27.4
14	3,041	2,187	854	71.9	28.1
15	2,989	2,151	838	72.0	28.0
16	2,966	2,116	850	71.3	28.7
17	2,915	2,090	825	71.7	28.3
18	2,853	2,053	800	72.0	28.0
19	2,817	2,015	802	71.5	28.5
20	2,797	1,996	801	71.4	28.6
21	2,768	1,978	790	71.5	28.5
22	2,802	1,982	820	70.7	29.3

図 - 5 本務教員1人当たりの生徒数の推移(高等学校)



b 通信制課程

(1)学 校 数

学校数は4校(通信制課程のみの独立校が2校、定時制課程との併置校が1校、全日制・定時制課程との併置校が1校)で、前年度と同数でした。

(2)生 徒 数

生徒数は1,783人(男子887人、女子896人)で、前年度より56人(男子16人減、女子40人減)、3.0%減少しました。

(3)教 員 数

本務教員数は57人(男子40人、女子17人)で、前年度より4人増加(男子1人増、女子3人増)しました。(表 - 21, 統計表第55表)

表 - 21 高等学校(通信制課程)の学校数等の推移

年 度	学 校 数	生 徒 数		本 務 教 員 数	
			対前年度増加率		対前年度増加率
	校	人	%	人	%
平成 12	3	2,015	1.1	39	0.0
13	3	1,770	12.2	42	7.7
14	3	1,762	0.5	41	2.4
15	3	1,793	1.8	43	4.9
16	3	1,816	1.3	41	4.7
17	3	1,853	2.0	42	2.4
18	3	1,882	1.6	41	2.4
19	3	1,800	4.4	40	2.4
20	4	1,909	6.1	61	52.5
21	4	1,839	3.7	53	13.1
22	4	1,783	3.0	57	7.5

5. 特別支援学校

(1) 学 校 数

学校数は15校(国立1校、県立14校)で、前年度と同数でした。

(2) 在学者および学級数

在学者の総数は1,853人(男子1,186人、女子667人)で、前年度より147人増加(男子78人増、女子69人増)しました。内訳は幼稚部31人、小学部592人、中学部450人、高等部780人で、前年度と比べると幼稚部4人増、小学部28人増、中学部33人増、高等部は82人増となっています。

学級数は470学級で、前年度より10学級増加しています。

(3) 教職員数

本務教員は1,109人(男子452人、女子657人)で、前年度より25人増加(男子11人増、女子14人増)しました。

職員数(本務者)は176人(男子81人、女子95人)で、前年度より1人減少しました。

職員：事務職員、技術職員、寄宿舎指導員、実習助手、養護職員(看護師等)、学校栄養職員、学校給食調理従業員、用務員等をいう。

(4) 通学状況

在学者1,853人の通学状況をみると、家庭から通学している者が1,659人(在学者総数の89.5%)で最も多く、次いで、児童福祉施設から97人(同5.2%)、寄宿舎から58人(同3.1%)、その他の医療機関から25人(同1.3%)、国立療養所重心病棟から14人(同0.8%)の順となっています。(表-22,統計表第25表,第27表,第28表,第30表)

表 - 22 特別支援学校の学校数等の推移

年度	学校数	学級数	在学者数	本務教員数
	校	学級	人	人
平成 12	14 (1)	388	1,069	870
13	14 (1)	396	1,127	893
14	14 (1)	390	1,175	921
15	14 (1)	399	1,227	933
16	13	407	1,290	961
17	13	400	1,346	961
18	14	418	1,440	1,002
19	15	430	1,530	1,024
20	15	455	1,618	1,058
21	15	460	1,706	1,084
22	15	470	1,853	1,109

(注) 生徒数には、専攻科生徒を含みます。

学校数の()内の数値は分校で内数です。

平成12年度から平成18年度までの各数値は、盲・聾・養護学校の合計数です。

6. 専修学校

(1) 学校数

学校数は27校で、前年度と同数でした。

設置者別では、公立6校、私立21校(学校法人立8校、社団法人立3校、その他の法人立6校、個人立4校)となっています。

(2) 生徒数

生徒数は2,140人(男子711人、女子1,429人)で、前年度より192人増加(男子118人増、女子74人増)しました。設置者別では公立987人、私立1,153人で、私立の占める割合は53.9%となっています。また、課程別では専門課程2,053人(生徒全体の95.9%)、高等課程86人(同4.0%)、一般課程1人(同0.0%)でした。

入学状況を見ると、今年度の入学定員は1,585人で、このうち春期の入学定員は1,545人でした。これに対し、春期の入学志願者数は2,297人で、入学志願率は1.5倍でした。

(3) 教員数

本務教員数は206人(男子61人、女子145人)で、前年度より2人減少(男子3人減、女子1人増)しました。設置者別にみると、公立80人、私立126人となっています。

(表 - 23, 統計表第31表, 第32表, 第35表)

表 - 23 学科別生徒数

(専修学校)

学科名	生徒数	割合	学科名	生徒数	割合
	人	%		人	%
工業関係その他	32	1.5	理学・作業療法	109	5.1
農業	52	2.4	介護福祉	48	2.2
農業関係その他	74	3.5	情報	38	1.8
看護	1,285	60.0	和洋裁	30	1.4
准看護	63	2.9	スポーツ	118	5.5
歯科衛生	87	4.1	文化教養関係その他	95	4.4
歯科技工	22	1.0			
柔道整復	87	4.1	合計	2,140	100.0

7. 各種学校

(1) 学校数

学校数は11校で、前年度より1校減少しました。

設置者別では、11校全て私立となっています。

(2) 生徒数

生徒数は659人(男子331人、女子328人)で、前年度より139人増加(男子74人増、女子65人増)しました。

また、修業年限別では修業年限1年未満の課程の生徒は580人(生徒全体の88.0%)、1年以上の課程の生徒は79人(同12.0%)でした。

(3) 教員数

本務教員数は59人(男子42人、女子17人)で、前年度より1人増加(男子増減なし、女子1人増)しました。(表-24, 統計表第36表, 第37表, 第39表)

表-24 課程別生徒数

(各種学校)

課程名	生徒数	割合	課程名	生徒数	割合
	人	%		人	%
准看護	28	4.2	外国人学校	26	3.9
商業実務関係その他	67	10.2			
自動車操縦	538	81.6			
			合計	659	100.0

不就学学齢児童生徒調査

1. 就学免除者および就学猶予者数

学校教育法第23条および同法第39条第3項に規定する就学の免除または猶予を受けた学齢児童生徒は、就学免除者が3人(児童3人、生徒0人)、就学猶予者は児童、生徒ともに0人でした。

2. 居所不明者数と死亡者数

1年以上居所不明者は児童7人(前年度4人)、生徒1人(同0人)となっています。また、平成21年度間の学齢児童生徒死亡者は児童4人(前年度2人)、生徒3人(同1人)でした。

(表-25, 統計表第61表)

表-25 不就学学齢児童生徒数の推移

(小学校・中学校の合計数)

区分/調査年度	平成17年度	18	19	20	21	22
就学免除者	-	-	3	2	3	3
就学猶予者	-	-	-	-	-	-
1年以上居所不明者	3	4	2	4	4	8
学齢児童生徒死亡者	5	-	7	1	3	7

1. 中学校卒業生

(1) 卒業生数

平成22年3月の中学校卒業生数は14,439人(男子7,362人、女子7,077人)で、前年より693人(男子381人増、女子312人増)、5.0%増加しました。(図-6)

卒業生を状況別にみると、高等学校等進学者(進学しながら就職している者を含む。以下同じ。)は14,254人(男子7,262人、女子6,992人)で、卒業生全体に占める割合は98.7%(前年98.4%)、専修学校(高等課程)進学者は5人(男子1人、女子4人)で0.0%(前年0.0%)、専修学校(一般課程)等入学者は1人(男子1人)で0.0%(前年0.0%)、公共職業能力開発施設等入学者は19人(男子15人、女子4人)で0.1%(前年0.2%)、就職者は33人(男子21人、女子12人)で0.2%(前年0.4%)、左記以外の者は126人(男子62人、女子64人)で0.9%(前年1.0%)、不詳・死亡は1人(女子1人)で0.0%(前年0.0%)となっています。(統計表 第41表)

図-6 卒業生数の推移(中学校)



(2) 高等学校等進学者数

高等学校等進学者は14,254人(男子7,262人、女子6,992人)で、前年より723人増加(男子416人増、女子307人増)しました。高等学校等進学率(卒業生全体に占める高等学校等進学者の割合)は98.7%で、前年より0.3ポイント上昇しました。これを男女別にみると、男子は98.6%で前年より0.5ポイント上昇し、女子は98.8%で前年と同率でした。

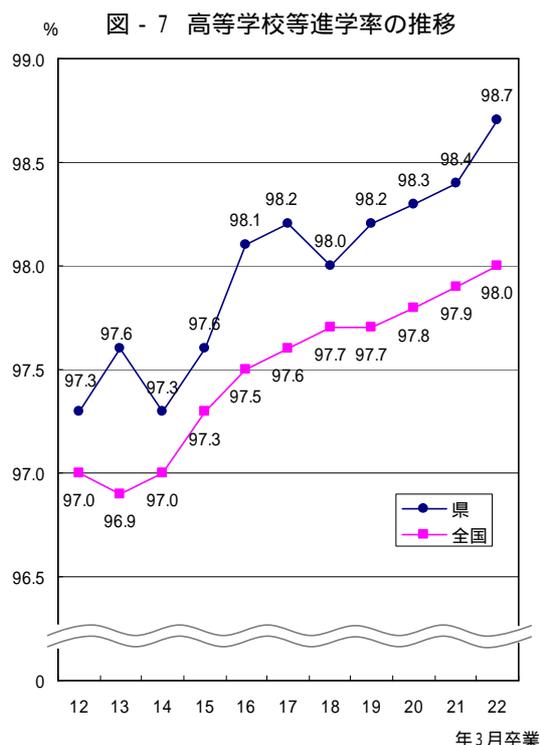
また、全国平均98.0%(男子97.8%、女子98.3%)と比べると、全体で0.7ポイント、男子で0.8ポイント、女子で0.5ポイントそれぞれ上回りました。高等学校通信制課程への進学者を除く高等学校等進学率は97.1%で、前年より0.2ポイント上昇しました。(統計表第41表、図-7)

高等学校等進学者の内訳をみると、高等学校の全日課程13,475人(高等学校等進学者全体の94.5%)、定時制課程339人(同2.4%)、通信制課程235人(同1.6%)、高等専門学校56人(同0.4%)、特別支援学校の高等部149人(同1.0%)となっています。

また、これらのうち、他県への高等学校等進学者は852人(男子471人、女子381人)で、高等学校等進学者全体の6.0%を占めています。

次に、高等学校等への入学志願者数(ただし高等学校の別科、通信制課程および特別支援学校高等部別科を除く)は14,073人(男子7,188人、女子6,885人)で、卒業生全体に占める割合(高等学校等進学志願率)は97.5%となり、前年より0.3ポイント上昇しました。さらに、この入学志願者のうち実際に高等学校等へ進学した者(14,019人)の割合(入学率)は99.6%で、前年より0.2ポイント低下しました。

(統計表第41表、第42表)



(3) 専修学校(高等課程)進学者数

専修学校(高等課程)進学者は5人(男子1人、女子4人)で、前年より1人増加(男子1人減、女子2人増)しました。卒業生全体に占める割合は0.0%で、前年と同率でした。(統計表第41表)

(4) 専修学校(一般課程)等入学者数

専修学校(一般課程)等への入学者は1人(男子1人、女子0人)で、前年より1人減少(男子1人増、女子2人減)しました。(統計表第41表)

(5) 公共職業能力開発施設等入学者数

公共職業能力開発施設等への入学者は19人(男子15人、女子4人)で、前年より4人減少(男子5人減、女子1人増)しました。卒業生全体に占める割合は0.1%で、前年より0.1ポイント低下しました。

(統計表第41表)

(6) 就職者数

就職者33人(男子21人、女子12人)に、高等学校等に進学しながら就職している者(高等学校等進学就職者)3人(男子1人、女子2人)を加えた就職者総数は36人(男子22人、女子14人)で、前年より20人減少(男子13人減、女子7人減)しました。(統計表第41表)

卒業生全体に占める割合(就職率)は0.2%(男子0.3%、女子0.2%)で、前年より0.2ポイント低下(男子0.2ポイント低下、女子0.1ポイント低下)し、全国平均0.4%を0.2ポイント下回りました。(図-8)

また、就職者のうち県内に就職した者は32人(男子20人、女子12人)、県外に就職した者は4人(男子2人、女子2人)でした。県外就職率は11.1%で、前年より3.2ポイント低下しました。

(図-9)

次に、就職者を産業別にみると、第1次産業に就職した者は前年と同じく0人でした。第2次産業に就職した者は14人で就職者全体に占める割合は38.9%(前年32.1%)、第3次産業に就職した者は18人で50.0%(同64.3%)等となっています。

男女別にみると、男子では第2次産業に就職した者が13人(男子就職者全体の59.1%)で最も多く、女子では第3次産業に就職した者が9人(同64.3%)で最も多くなっています。(図-10)

図-8 中学校卒業者の就職率の推移

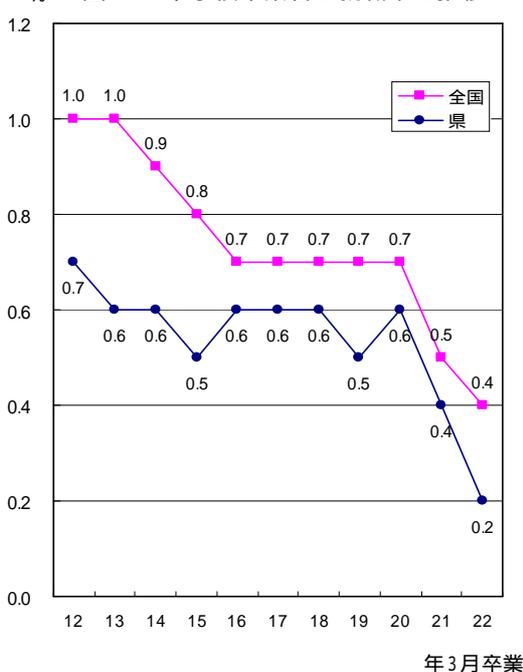


図-9 就職先別就職者数(中学校)

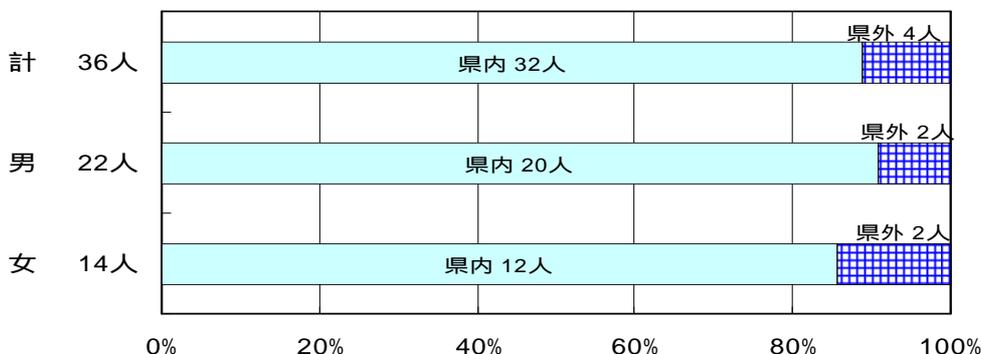
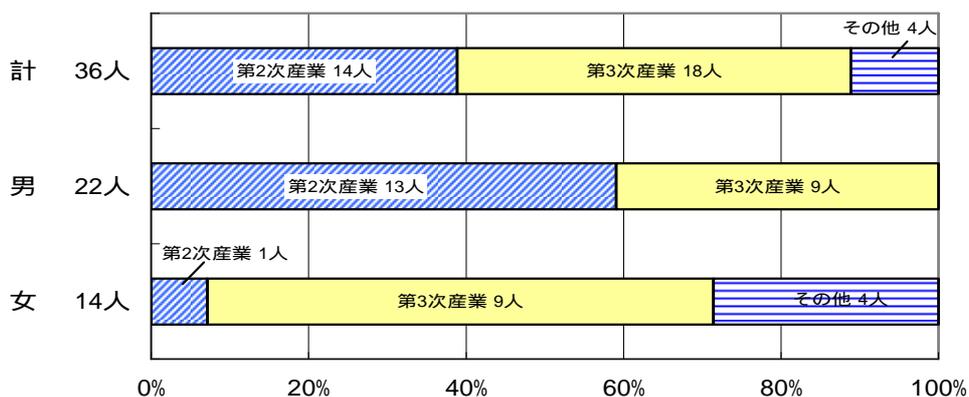


図-10 産業別就職者数(中学校)

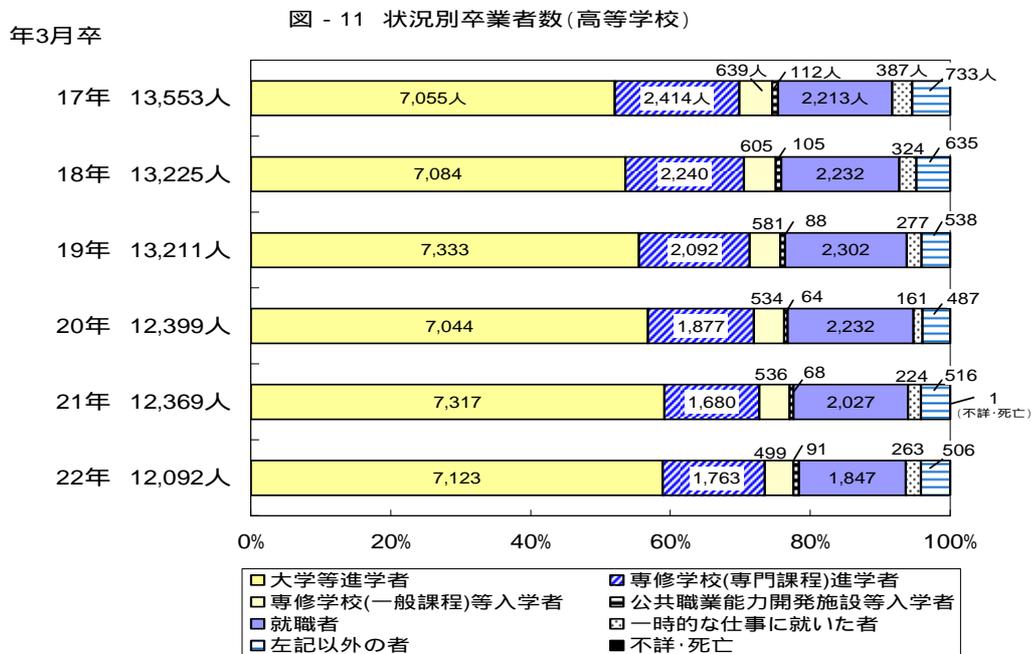


2. 高等学校卒業生

a 全日制・定時制課程

(1) 卒業生数

平成22年3月の高等学校卒業生数は12,092人(男子6,218人、女子5,874人)で、前年に比べ2,777人(男子76人減、女子201人減)、2.2%減少しました。



卒業生を状況別にみると、大学等進学者(進学しながら就職している者を含む。以下同じ。)は7,123人(男子3,608人、女子3,515人)で、卒業生全体に占める割合は58.9%(前年59.2%)、専修学校(専門課程)進学者は1,763人(男子760人、女子1,003人)で14.6%(前年13.6%)、専修学校(一般課程)等への入学者は499人(男子388人、女子111人)で4.1%(前年4.3%)、公共職業能力開発施設等入学者は91人(男子87人、女子4人)で0.8%(前年0.5%)、就職者は1,847人(男子1,026人、女子821人)で15.3%(前年16.4%)、一時的な仕事に就いた者は263人(男子88人、女子175人)で2.2%(前年1.8%)、左記以外の者は506人(男子261人、女子245人)で4.2%(前年4.2%)、不詳・死亡は0人(前年0.0%)となっています。(図 - 11)

(2) 大学等進学者数

大学・短期大学等へ進学した者は7,123人(男子3,608人、女子3,515人)で、前年より1,944人減少(男子50人減、女子1,444人減)しました。大学等進学率(卒業生全体に占める大学等進学者の割合)は58.9%で、前年より0.3ポイント低下しました。

これを男女別にみると、男子は58.0%で前年より0.1ポイント低下し、女子は59.8%で前年より0.4ポイント低下しました。全国平均の54.3%(男子52.7%、女子55.9%)と比べると、全体で4.6ポイント、男子で5.3ポイント、女子で3.9ポイント

表 - 26 大学等進学率の全国順位

第1位	京都府	67.0%
第2位	東京都	65.4%
第3位	神奈川県	61.8%
第4位	広島県	61.5%
第5位	兵庫県	60.7%
第9位	滋賀県	58.9%
第43位	青森県	42.7%
第44位	鹿児島県	41.7%
第45位	北海道	41.1%
第46位	岩手県	40.1%
第47位	沖縄県	36.6%

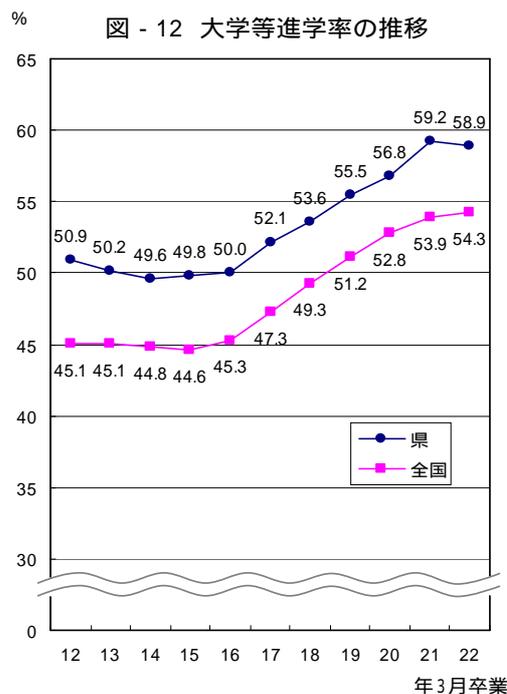
それぞれ上回りました。大学等進学率は、全国で9位(前年7位)に位置しています。

(図 - 11, 表 - 26, 図 - 12)

大学等進学者の内訳をみると、大学学部6,152人(進学者全体の86.4%)、短期大学本科969人(同13.6%)、大学・短期大学の通信教育部及び放送大学2人(同0.0%)となっています。

また、これを男女別にみると、男子では大学学部への進学者が3,511人(進学者全体の97.3%)、短期大学本科への進学者が97人(同2.7%)、女子では大学学部への進学者が2,641人(同75.1%)、短期大学本科への進学者が872人(同24.8%)、大学・短期大学の通信教育部及び放送大学への進学者が2人(同0.1%)となっています。

卒業者のうち大学学部・短期大学本科への入学志願者は、大学学部が6,844人(男子4,005人、女子2,839人)、短期大学本科が995人(男子100人、女子895人)の合計7,839人(男子4,105人、女子3,734人)で、そのうち、実際にその学校へ入学した者の率(入学率)は、大学学部が89.9%、短期大学本科が97.4%となっています。(統計表第45表)



(3) 専修学校(専門課程)進学者数

専修学校(専門課程)進学者は1,763人(男子760人、女子1,003人)で、前年より83人増加(男子104人増、女子21人減)しました。卒業者全体に占める割合は14.6%で、前年より1.0ポイント上昇しました。(図 - 11, 統計表第45表)

(4) 専修学校(一般課程)等入学者数

専修学校(一般課程)等への入学者は499人(男子388人、女子111人)で、前年より37人減少(男子26人減、女子11人減)しました。卒業者全体に占める割合は4.1%で、前年より0.2ポイント低下しました。(図 - 11, 統計表第45表)

専修学校(一般課程等)

専修学校(一般課程等)への入学者は109人(男子81人、女子28人)で、前年より40人減少(男子32人減、女子8人減)しました。卒業者全体に占める割合は0.9%で、前年より0.3ポイント低下しました。

各種学校

各種学校への入学者は390人(男子307人、女子83人)で、前年より3人増加(男子6人増、女子3人減)しました。卒業者全体に占める割合は3.2%で、前年より0.1ポイント上昇しました。

(5)公共職業能力開発施設等入学者数

公共職業訓練施設等への入学者は91人(男子87人、女子4人)で、前年より23人増加(男子26人増、女子3人減)しました。卒業者全体に占める割合は0.8%で、前年より0.3ポイント上昇しました。(図-11, 統計表第45表)

(6)就職者数

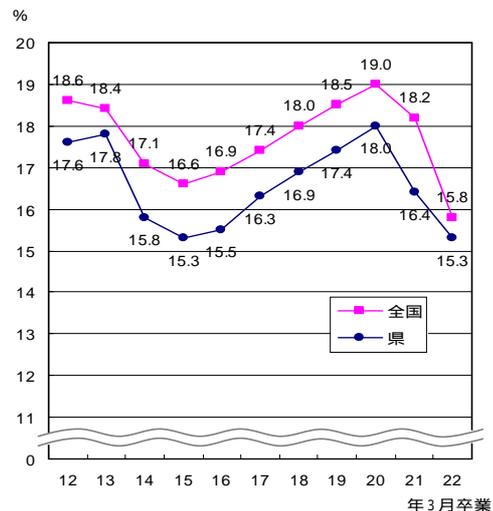
就職者数は1,847人(男子1,026人、女子821人)で、大学・専修学校等へ進学・入学しながら就職している者は2人(男子1人、女子1人)であることから、就職者総数は1,849人(男子1,027人、女子822人)となっています。前年より180人減少(男子154人減、女子26人減)しました。

就職率は15.3%(男子16.5%、女子14.0%)で前年より1.1ポイント低下しました。全国平均の15.8%(男子18.4%、女子13.1%)と比べると、全体で0.5ポイント下回りました。就職率は、全国で35位(前年35位)に位置しています。(図-11,表-27,図-13, 統計表第45表)

表-27 就職率の全国順位

第1位	佐賀県	29.9%
第2位	青森県	28.5%
第3位	長崎県	27.9%
第4位	岩手県	27.1%
第5位	秋田県	26.8%
第35位	滋賀県	15.3%
第43位	大阪府	10.7%
第44位	奈良県	10.5%
第45位	京都府	8.5%
第46位	神奈川県	7.8%
第47位	東京都	5.8%

図-13 高等学校卒業者の就職率の推移



産業別就職者数

産業別に就職者数をみると、製造業1,035人(就職者全体に占める割合56.0%)、宿泊業,飲食サービス業146人(同7.9%)、卸売業,小売業134人(同7.2%)、医療,福祉120人(同6.5%)、建設業90人(4.9%)、生活関連サービス業,娯楽業89人(同4.8%)、運輸業,郵便業87人(同4.7%)、などが主なものとなっています。(図-14)

次に、男女別にみると、男子では製造業68.1%、建設業7.3%、運輸業,郵便業4.6%、公務(他に分類されるものを除く)4.4%、宿泊業,飲食サービス業4.1%などとなっています。これに対し、女子では製造業40.9%、卸売業,小売業12.7%、宿泊業,飲食サービス業12.7%、医療,福祉12.5%、生活関連サービス業,娯楽業7.7%、の順となっています。(図-15, 図-16)

図-14 産業別就職者数(高等学校)

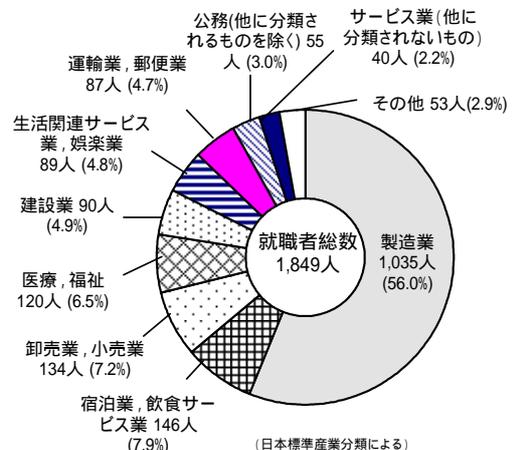


図 - 15 産業別就職者数(高等学校)
男子

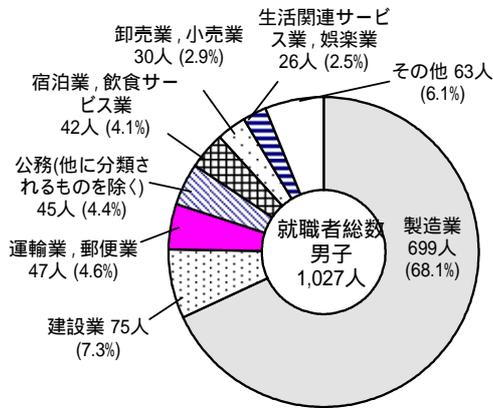
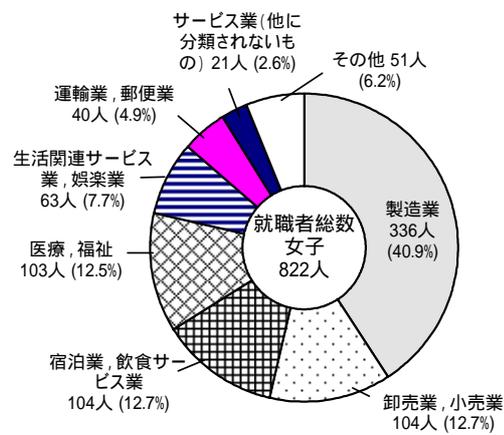


図 - 16 産業別就職者数(高等学校)
女子



職業別就職者数

職業別に就職者数をみると、生産工程・労務作業者1,105人(就職者全体に占める割合59.8%)、サービス職業従事者264人(同14.3%)、専門的・技術的職業従事者137人(同7.4%)、事務従事者132人(同7.1%)、販売従事者107人(同5.8%)などが主なものとなっています。

男女別にみると、男子では、生産工程・労務作業者が全体の77.1%を占めているのに対し、女子では、生産工程・労務作業者38.1%、サービス職業従事者23.8%、事務従事者13.9%、販売従事者10.6%などとなっています。(図 - 17, 図 - 18, 図 - 19)

図 - 17 職業別就職者数(高等学校)
合計

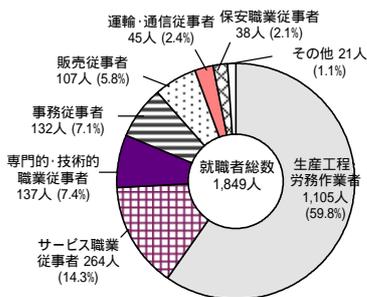


図 - 18 職業別就職者数(高等学校)
男子

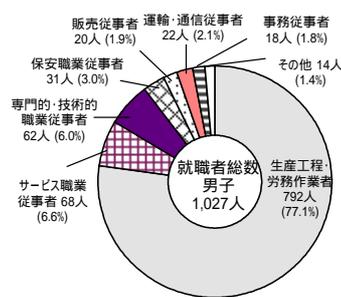
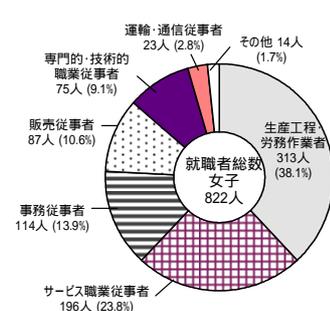


図 - 19 職業別就職者数(高等学校)
女子



就職先の都道府県別就職者数

就職者のうち県内に就職した者は1,648人(男子915人、女子733人)で、就職者全体の89.1%(男子89.1%、女子89.2%)を占めています。

また、県外に就職した者は201人(男子112人、女子89人)で、就職者全体の10.9%(男子10.9%、女子10.8%)となっています。

なお、県外の主な就職先は、京都府87人、大阪府51人、東京都16人、愛知県11人、岐阜県5人、兵庫県5人の順となっています。(統計表第52表)

b 通信制課程

平成21年度間の卒業生数は405人(男子180人、女子225人)で、前年度間より4人減少しました。

卒業生の状況別内訳は、大学等進学者76人(男子36人・女子40人、卒業生全体に占める割合は18.8%)、専修学校(専門課程)進学者67人(男子35人・女子32人、同16.5%)、専修学校(一般課程)等入学者0人、公共職業能力開発施設等入学者4人(男子3人・女子1人、同1.0%)、就職者58人(男子37人・女子21人、同14.3%)、左記以外の者200人(男子69人・女子131人、同49.4%)、不詳・死亡の者0人となっています。

(統計表第60表)

3. 特別支援学校卒業生

a 中 学 部

平成22年3月の卒業生数は139人(男子93人、女子46人)で、前年より20人増加しました。

卒業生の状況別内訳は、高等学校等進学者139人(男子93人、女子46人、卒業生全体に占める割合は100.0%)となっています。

主な進学先は特別支援学校高等部となっています。(統計表第53表)

b 高 等 部

平成22年3月の卒業生数は197人(男子130人、女子67人)で、前年より16人減少しました。

卒業生の状況別内訳は、大学等進学者5人(男子3人、女子2人、卒業生全体に占める割合2.5%)、専修学校(専門課程)進学者2人(男子2人、同1.0%)、公共職業能力開発施設等入学者4人(男子3人、女子1人、同2.0%)、就職者44人(男子30人、女子14人、同22.3%)、左記以外の者142人(男子92人、女子50人、同72.1%)となっています。

(統計表第54表)